

平成22年度  
横浜市における石綿の健康リスク調査報告書

平成23年3月

横浜市

# 横浜市における石綿の健康リスク調査報告書

## 目 次

1	目的	1
2	内容	
(1)	調査対象者	1
(2)	調査内容	1
ア	横浜市における確認（問診及び登録）	1
イ	検査	1
ウ	画像所見の確認	1
エ	検査結果	2
オ	データの解析	2
3	結果	
(1)	調査協力者数	2
(2)	調査対象者の医学的所見・ばく露歴の整理	2
4	まとめ	4
5	石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があるとされた者の診断経過について	4
6	今後の予定	4
7	参考・引用文献	4
	<資料>	
	表1	5
	表2	5
	A表	6
	B表	7
	C図	9
	D表	10
	表3	11
	<参考資料>	
	別添1 問診票	12
	別添2 受診券	14
	別添3 横浜市石綿ばく露健康リスク調査指定医療機関一覧	15
	別添4 横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会委員名簿	16

## 1 目的

平成 18 年度から、一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性があった地域において、石綿取扱い施設の周辺住民に対して、問診、胸部 X 線検査、胸部 C T 検査等を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の所見の有無と健康影響との関係に関する知見を収集した。

平成 22 年度からの第 2 期石綿の健康リスク調査（平成 22 年～平成 26 年度の 5 年間で予定）においては、対象者数を大幅に増加させるとともに、毎年の検査（年 1 回）や健康状況の確認を確実に行うことにより、石綿ばく露の状況の違い等による石綿関連所見や石綿関連疾患の発生状況の比較等を行い、石綿ばく露者の中・長期的な健康管理のあり方を検討するための知見を収集する。

横浜市においては、平成 19 年度から実施しているが、平成 22 年度においても引き続き実施することにより、石綿ばく露の状況の違い等による石綿関連所見等の集計を行い、周辺住民の健康管理に資する。

## 2 内容

### (1) 調査対象者

原則として、次の①～③を満たす者を調査対象者とした。

- ① 平成元年までに、横浜市鶴見区に居住していた者
- ② 横浜市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者
- ③ 本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者

なお、①については、それ以外の者も石綿ばく露の可能性があれば受け入れることを妨げないこととし、横浜市の広報等を通じて調査対象者の募集を行った。

また、平成 19～21 年度調査協力者についても、本調査でフォローすることとし、個別に調査通知を行った。

### (2) 調査内容

#### ア 横浜市における確認（問診及び登録）

本調査の申し込みを行った者に対し、本調査事業の説明、調査協力に対する同意をとり、所定の問診票を用いた問診を実施した。

調査登録台帳に登録を行うとともに、検査（胸部 X 線検査、胸部 C T 検査）を実施するにあたって医療機関への受診券を発行した。

また、(株) エーアンドエーマテリアル（以下「エー社」という）が平成 17 年度以降に実施した検診の受診者についても本調査でフォローすることとし、上記と同様に実施した。

なお、既に胸部 C T 検査など精密診断を受けている場合は、本人の承諾を得て、実施医療機関より胸部 X 線及び胸部 C T フィルムのコピーを入手した。

#### イ 検査

調査対象者は、横浜市が発行した受診券を指定医療機関（財団法人神奈川県予防医学協会、社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院、独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院、地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立循環器呼吸器病センター、公立大学法人横浜市立大学附属病院）に提出し、受診した。ここでは、胸部 X 線検査及び胸部 C T 検査を行った。

#### ウ 画像所見の確認

「横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会」において読影を行った。

また、検査の結果については調査対象者に通知した。

## エ 検査結果

指定医療機関による検査結果及び横浜市の専門家による読影会を実施することにより、精密検査又は医療の必要がある場合等の対応方針については、読影結果の振り分けの考え方①～③により対応した。

### 【読影結果の振り分けの考え方】

- ① 精密検査又は医療の必要があるとされた者  
認められた所見について説明し、すみやかに医療機関を受診し、医師の指示に従うよう指導する。
- ② 所見を有しているが、医療の必要がないとされた者  
認められた所見について説明し、直ちに医療機関へ行く必要はないが、経過観察を行うため、引き続き、当調査による検査を受診するようお願いする（受診勧奨）。
- ③ 所見を有しない者  
所見が認められないことを説明し、経過を確認するため、引き続き、当調査による検査を受診するようお願いする（受診勧奨）。

## オ データの解析

前記ア～エの一連の作業について、「横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会」において、医学的な観点から判断や検討を行った。

## 3 結果

### (1) 調査協力者数

なお、【 】内は平成22年度に初めて本調査に参加した者を再掲した。

ア 問診及び胸部X線検査・胸部CT検査を受診又は資料提供した者	365名	【43名】
イ アのうち、平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者（調査対象者）	317名	【36名】
(ア) イのうち、現在も横浜市鶴見区に居住している者	231名	【26名】
(イ) イのうち、平成17年以降のエー社検診受診者	37名	【0名】
ウ イ以外の者	48名	【7名】

協力者365名のうち、男性210名、女性155名であった。

また、協力者365名のうち、年齢構成別では、70歳代が最も多く32.9%で、60歳以上の者が71.0%であった。

指定医療機関別受診者数（表1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5  
年齢階層別、検査項目別、新規継続別受診者数（表2）・・・・・・・・・・・・・・P5

なお、調査協力者の現居住地は、鶴見区在住236名、他区在住107名、市外在住22名（県内13名、県外9名）であった。

### (2) 調査対象者の医学的所見・ばく露歴の整理

調査対象者の医学的所見・ばく露歴の整理については、環境省指定の注1～3の分類に従い図表A～Dに整理し、取りまとめた。

注1：医学的所見については、胸部 X 線検査および胸部 C T 検査の結果を踏まえ、石綿ばく露に関する医学的所見①～⑨を確認する。(重複含む)

- ① 胸水貯留が認められる者
- ② 胸膜プラーク (限局性の胸膜肥厚) が認められる者
- ③ びまん性胸膜肥厚が認められる者
- ④ 胸膜腫瘍 (中皮腫) の疑いが認められる者
- ⑤ 肺野の間質影が認められる者
- ⑥ 円形無気肺が認められる者
- ⑦ 肺野の腫瘤状陰影 (肺がん等) が認められる者
- ⑧ リンパ節の腫大が認められる者
- ⑨ その他の所見 (①～⑧以外の所見) が認められる者

注2：ばく露歴については、該当するものにすべて●を記入 (ア～オは重複含む)

- ア 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ 職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの (居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱い施設がある場合も含む)

注3：ばく露歴分類については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うものとする。

- ア 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
  - イ 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
  - ウ 上記ア～イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
  - エ 上記ア～ウに該当せず、職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
  - オ 上記ア～エに該当しないもの
- 上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談した。

- A表：平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者のばく露歴集計表、ばく露歴及び年齢階層別分類表・・・P6
- B表：平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者に関するばく露歴と石綿ばく露に関する医学的所見・年齢階層・状況のクロス集計表・・・P7
- C図：平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者でばく露歴分類が「オ その他」の者に関するプロット図・・・P9
- D表：平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者でばく露歴分類が「オ その他」の者に関するプロット図の説明表・・・P10

#### 4 まとめ

調査協力者365名のうち、平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者317名については次のことが確認された。

(1) 調査対象者317名を環境省指定のばく露歴分類別に見ると、次のとおりであった。

なお、【 】内は平成22年度に初めて本調査に参加した者を再掲した。

ア 直接石綿を取り扱っていた職歴のある者	75名	【11名】
イ 直接ではないが職場で石綿ばく露した可能性のある者	23名	【2名】
ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによってばく露した可能性のある者	26名	【2名】
エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験のある者	27名	【2名】
オ その他ばく露歴が特定できない者	166名	【19名】

(2) 調査対象者317名のうち、石綿ばく露に関する所見として「胸膜プラーク（所見疑いを除く）」が認められた者は64名（20.2%）であった。

この64名をばく露歴別に見ると、下記のとおりであった。なお、【 】内は平成22年度に初めて本調査に参加した者を再掲した。

また、平成21年度以前に経過観察者となった467名のうち、平成22年度も継続して調査に協力している者が281名（60.2%）であり、今年度初めて胸膜プラークが確認できた者が2名いた。この2名はいずれもばく露歴オであった。

ア 直接石綿を取り扱っていた職歴のある者	27名(42.2%)	【4名(66.6%)】
イ 直接ではないが職場で石綿ばく露した可能性のある者	9名(14.1%)	【1名(16.7%)】
ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによってばく露した可能性のある者	8名(12.5%)	【1名(16.7%)】
エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験のある者	4名(6.2%)	【0名(0%)】
オ その他ばく露歴が特定できない者	16名(25.0%)	【0名(0%)】

5 石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者の診断経過について

平成21年度及び平成22年度（平成22年12月31日迄）に石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行った。石綿関連疾患であると診断された者はいなかった。結果は表3（P11）に取りまとめた。

6 今後の予定

今年度から始まった「第2期石綿の健康リスク調査」は平成22年度から5年間継続実施の予定である。受診者の経過観察を5年間継続し、データの更なる蓄積を図っていく。

7 参考・引用文献

- ・「アスベストと中皮腫」篠原出版新社  
亀井敏昭、石川雄一、三浦溥太郎、井内康輝、森永謙二編著
- ・「石綿ばく露と石綿関連疾患 基礎知識と補償・救済」三信図書  
森永謙二編

表1 指定医療機関別受診者数

指定医療機関名	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
神奈川県予防医学協会	118	32.3%	69	32.9%	49	31.6%
済生会横浜市東部病院	130	35.6%	75	35.7%	55	35.5%
横浜労災病院	67	18.4%	40	19.0%	27	17.4%
横浜市立大学附属病院	11	3.0%	2	1.0%	9	5.8%
神奈川県立循環器呼吸器病センター	21	5.8%	14	6.7%	7	4.5%
その他	18	4.9%	10	4.8%	8	5.2%
合計	365	100.0%	210	100.0%	155	100.0%

※その他は、胸部X線検査及びCT検査のいずれもせず、フィルム取寄せ(指定医療機関含む)により対応  
 ※平成23年3月31日現在

表2-1 年齢階層別受診者数

	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
40歳未満	9	2.5%	5	2.4%	4	2.6%
40～49歳	38	10.4%	21	10.0%	17	11.0%
50～59歳	59	16.2%	29	13.8%	30	19.4%
60～69歳	118	32.3%	65	31.0%	53	34.2%
70～79歳	120	32.9%	75	35.7%	45	29.0%
80～89歳	21	5.8%	15	7.1%	6	3.9%
90～99歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	365	100.0%	210	100.0%	155	100.0%

※平成23年3月31日現在

表2-2 検査項目別受診者数

受診内容	合計	
	(人)	(%)
問診+胸部X線+胸部CT	297	81.4%
問診+胸部X線のみ	68	18.6%
問診+胸部CTのみ	0	0.0%
問診のみ	0	0.0%
合計	365	100.0%

※平成23年3月31日現在

表2-3 新規受診者数、継続受診者数

受診内容	合計		うち調査対象者	
	(人)	(%)	(人)	(%)
新規受診者数	43	11.8%	36	11.4%
継続受診者数	322	88.2%	281	88.6%
合計	365	100.0%	317	100.0%

※平成23年3月31日現在

**A表 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者のばく露歴集計表、  
ばく露歴及び年齢階層別分類表**

**A-1 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者のばく露歴集計表**

	ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境ばく露あり	オ.その他	小計	うち女性
	●					0	0
	●	●				0	0
	●		●			0	0
	●			●		0	0
	●				●	45	3
	●	●	●			0	0
	●	●		●		0	0
	●	●			●	15	0
	●		●	●		0	0
	●		●		●	3	1
	●			●	●	6	0
	●	●	●	●		0	0
	●	●	●		●	3	0
	●	●		●	●	2	0
	●		●	●	●	0	0
	●	●	●	●	●	1	0
		●				0	0
		●	●			0	0
		●		●		0	0
		●			●	15	3
		●	●	●		0	0
		●	●		●	3	3
		●		●	●	3	2
		●	●	●	●	2	0
			●			0	0
			●	●		0	0
			●		●	15	12
			●	●	●	11	8
				●		0	0
				●	●	27	15
					●	166	99
計*	75	44	38	52	317	317	146
うち女性*	4	8	24	25	146		

\* 縦計については重複計上

**A-2 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者のばく露歴及び年齢階層別分類表**

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満	8	4	1	0	0	0	0	0	2	1	5	3
40～49歳	33	16	9	1	1	0	2	2	1	1	20	12
50～59歳	54	27	9	0	3	2	3	1	7	5	32	19
60～69歳	102	50	20	0	9	4	11	9	6	3	56	34
70～79歳	100	43	32	3	6	1	9	7	7	4	46	28
80～89歳	20	6	4	0	4	1	1	1	4	1	7	3
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	317	146	75	4	23	8	26	20	27	15	166	99

## B表 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者に関する ばく露歴と石綿ばく露に関する医学的所見・年齢階層・状況のクロス集計表

### B-1 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者の石綿ばく露に関する医学的所見①～⑧について

	計	うち女性	ア.主に直接 職業歴	うち女性	イ.主に間 接職業歴	うち女性	ウ.主に家 庭内ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	79 (15)	21 (4)	31 (4)	2 (0)	9 (0)	1 (0)	8 (0)	5 (0)	5 (1)	2 (0)	26 (10)	11 (4)
①胸水貯留	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
②胸膜プラーク	79 (15)	21 (4)	31 (4)	2 (0)	9 (0)	1 (0)	8 (0)	5 (0)	5 (1)	2 (0)	26 (10)	11 (4)
③びまん性胸膜肥厚	3 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
⑤肺野の間質影	6 (2)	2 (0)	4 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
⑥円形無気肺	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
⑦肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
⑧リンパ節の腫大	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
胸膜プラーク及び肺 野の間質影の間質影 あり	6 (2)	2 (0)	4 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

\*①～⑧は重複計上含む

\* ( )は所見疑いを再掲

\*③または⑤の所見が見られ石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は計上していない。

### B-2 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者で、石綿ばく露に関する医学的所見⑤肺野の間質影が 見られた者の詳細分類

	計	うち女性	ア.主に直接 職業歴	うち女性	イ.主に間 接職業歴	うち女性	ウ.主に家 庭内ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
肺野の間質影実人数	6	2	4	1	0	0	2	1	0	0	0	0
胸膜下曲線様陰影	4	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0
胸膜下曲線様陰影うち直下(再掲)	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸膜下曲線様陰影うち非直下(再掲)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
小葉中心性粒状影	2	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
すりガラス様陰影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
網状影	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
蜂窩肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺実質内帯状影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は計上していない。

### B-3 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者で、石綿ばく露に関する医学的所見③びまん性胸膜肥厚 または⑤肺野の間質影が見られた者の、その所見の石綿との関連

③びまん性胸膜肥厚	計	うち女性	ア.主に直接 職業歴	うち女性	イ.主に間 接職業歴	うち女性	ウ.主に家 庭内ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
強く疑う	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
疑う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
可能性がある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
他の原因である可能性が高い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑤肺野の間質影	計	うち女性	ア.主に直接 職業歴	うち女性	イ.主に間 接職業歴	うち女性	ウ.主に家 庭内ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
強く疑う	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑う	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
可能性がある	3	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	6	2	4	1	0	0	2	1	0	0	0	0
他の原因である可能性が高い	14	3	4	0	0	0	0	0	3	0	7	3

B-4 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者で、胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、肺野の間質影の所見が見られた者の年齢階層別分類表

①胸水貯留

	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\* ( )は所見疑いを再掲

②胸膜プラーク

	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0 ( )	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	9 (5)	2 (1)	3 (1)	0	0	0	0	0	1 (1)	0	5 (3)	2 (1)
60～69歳	20 (1)	5	7	0	3	0	4	2	0	0	6 (1)	3
70～79歳	43 (7)	12 (2)	19 (3)	2	4	0	4	3	4	2	12 (4)	5 (2)
80～89歳	7 (2)	2 (1)	2	0	2	1	0	0	0	0	3 (2)	1 (1)
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	79 (15)	21 (4)	31 (4)	2	9	1	8	5	5 (1)	2	26 (10)	11 (4)

\* ( )は所見疑いを再掲

③びまん性胸膜肥厚

	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
80～89歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0

\* ( )は所見疑いを再掲

\*石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は計上していない。

⑤肺野の間質影

	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	2 (1)	0	1	0	0	0	1 (1)	0	0	0	0	0
70～79歳	4 (1)	2	3 (1)	1	0	0	1	1	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6 (2)	2	4 (1)	1	0	0	2 (1)	1	0	0	0	0

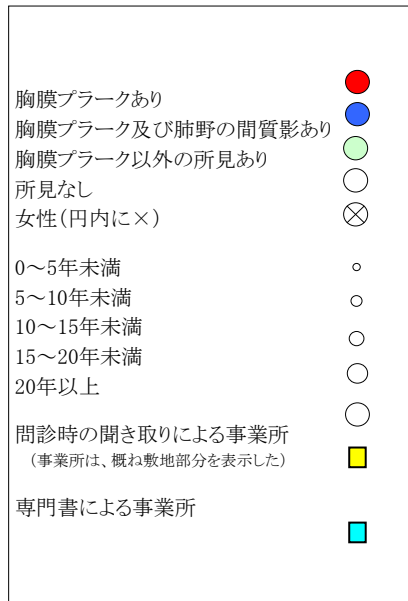
\* ( )は所見疑いを再掲

\*石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は計上していない。

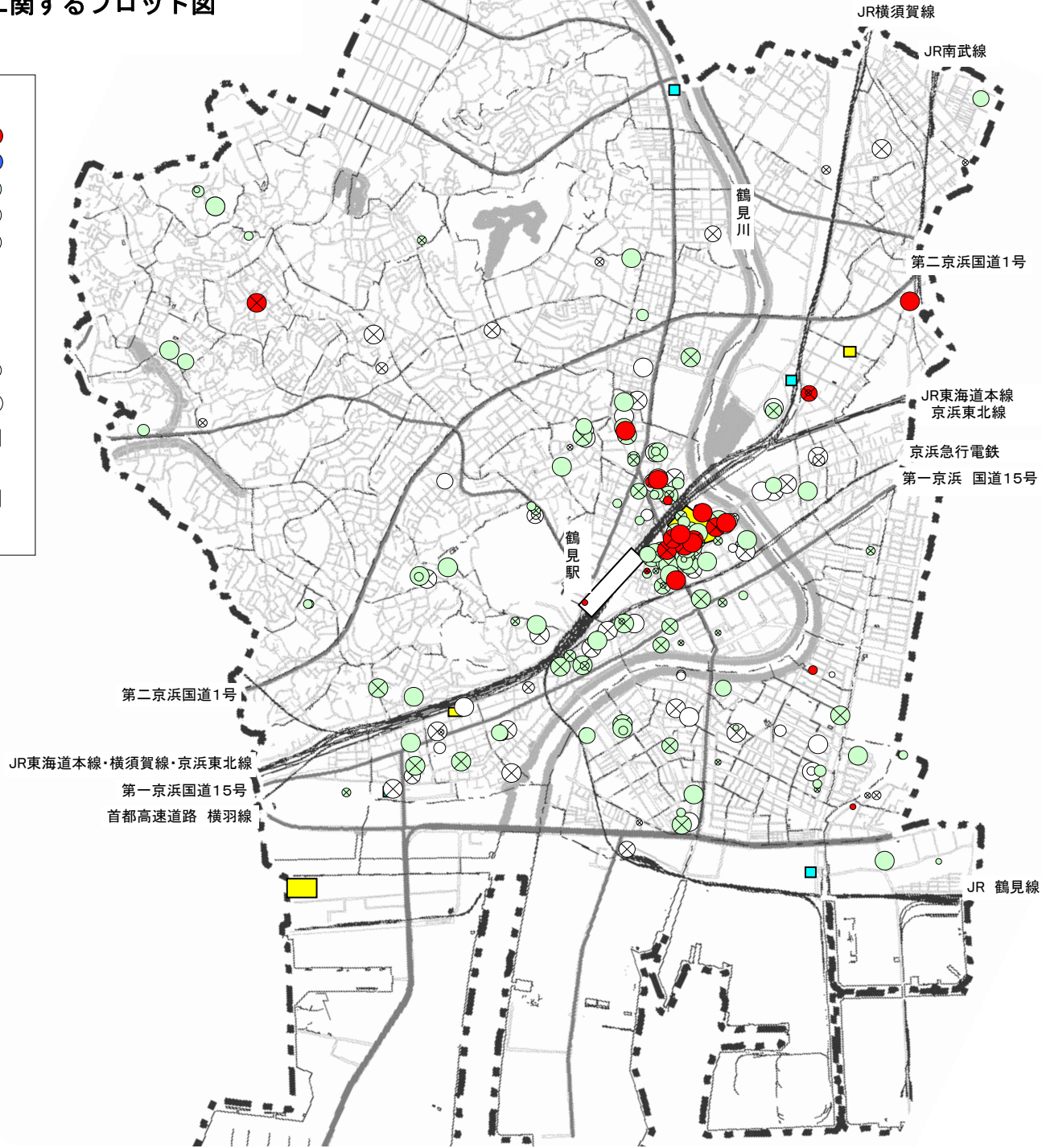
B-5 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた調査対象者の状況

	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
次年度検査予定者	296	140	70	4	19	7	26	20	27	16	154	93
検査終了者	21	6	5	0	5	1	0	0	1	0	10	5
合計	317	146	75	4	24	8	26	20	28	16	164	98

**C図：平成元年以前に横浜市鶴見区に  
居住していた者で、ばく露歴分類が  
「オ その他」の者に関するプロット図**



6



D表 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者で、ばく露歴分類が「オ その他」の者に関するプロット図の説明表

D-1表：ばく露歴分類が「オ(その他)」の者とプロット数との関係表

	プロット対象者数	プロット数
胸膜プラークあり	16	22
うち肺野の間質影あり	0	0
胸膜プラーク以外の所見あり	80	124
所見なし	63	78
合計	159	224

※複数地域に居住歴のある者は、それぞれの地域にプロットした。

D-2表：ばく露歴分類が「オ(その他)」で胸膜プラークのプロットがある町名別一覧表

	プロット数		全プロット数
	胸膜プラークありの者のプロット数	胸膜プラーク及び肺野の間質影ありの者のプロット数	
豊岡町	1	0	5
佃野町	4	0	20
北寺尾	1	0	4
尻手	1	0	1
栄町通	1	0	2
朝日町	1	0	4
元宮	2	0	4
鶴見中央	11	0	77
その他	0	0	107
計	22	0	224

**表3 石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者の診断経過について**

平成21年度に石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行った。

その結果、炎症性変化と医療機関で診断され、経過観察中であった。なお、中皮腫、肺がん、石綿肺、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚等の石綿関連疾患であると医療機関で診断された者は疑いを含めいなかった。

**表3-1：平成21年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過**

	計		ア.主に直接 職歴		イ.主に間接 職歴		ウ.主に家庭 内ばく露		エ.主に立 入・屋内環 境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性
医療機関に照会が行われた者	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
石綿関連疾患(疑いを含む)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
a 中皮腫	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
b 肺がん	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
c 石綿肺	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
d 良性石綿胸水	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
e びまん性胸膜肥厚	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※( )は、疾患疑いを再掲

**表3-2 平成21年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者の労災、石綿救済法の認定状況**

	計		ア.主に直接 職歴		イ.主に間接 職歴		ウ.主に家庭 内ばく露		エ.主に立 入・屋内環 境ばく露		オ.その他	
	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済
a 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b 肺がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
c 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成22年度に石綿の健康リスク調査に参加し、平成22年12月31日迄に医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て、医療機関に照会を行った。

その結果、気管支拡張症1人、慢性閉塞性肺疾患2人、胸部・腹部大動脈瘤1人、橋本病1人、炎症性結節疑い1人、神経鞘腫疑い1人、クリプトコッカスによる肉芽腫疑い1人と医療機関で診断され、8名とも継続治療中又は経過観察中であった。なお、中皮腫、肺がん、石綿肺、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚等の石綿関連疾患であると医療機関で診断された者は疑いを含めいなかった。

**表3-3 平成22年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過**

	計		ア.主に直接 職歴		イ.主に間接 職歴		ウ.主に家庭 内ばく露		エ.主に立 入・屋内環 境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	
医療機関に照会が行われた者	8 (3)	2 (0)	3 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (1)	2 (0)
石綿関連疾患(疑いを含む)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
a 中皮腫	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
b 肺がん	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
c 石綿肺	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
d 良性石綿胸水	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
e びまん性胸膜肥厚	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
精密検査実施中	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※( )は、疾患疑いを再掲

**表3-4 平成22年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者の労災、石綿救済法の認定状況**

	計		ア.主に直接 職歴		イ.主に間接 職歴		ウ.主に家庭 内ばく露		エ.主に立 入・屋内環 境ばく露		オ.その他	
	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済	労災 救済
a 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b 肺がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
c 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

横浜市一般環境経路による石綿ばく露健康リスク調査問診票

ID番号

※必ず太枠内をご記入の上、問診会場に持参してください。

フリガナ	男・女	明・大・昭・平
氏名	生年月日	年 月 日生 歳
現住所	〒 -	電話番号

あてはまる番号や□に印をつけてください。また、空欄をご記入ください。

この調査は、国の石綿対策における有用な資料となります。  
本調査票の内容について、国及び実施自治体において個人情報特定されない形で利用することに同意していただけますか。 □ 同意する □ 同意しない

問1. この健康リスク調査を受ける理由は何ですか。(○をつけてください。)

(1) 自分または家族が石綿を扱う仕事をしていた。  
(2) 石綿を扱う場所の近くに住んでいた。  
(3) 仕事以外で、身の回りにおいて石綿(製品、材料など)を扱うことがあった。  
(4) その他( )

問2. あなたのこれまでの居住歴について、右のページの「居住歴」欄に記入してください。

問3. 本人の現在までの通学歴・職歴及び石綿を扱っていたご家族の現在までの職歴を別紙調査票「①本人の通学歴、②本人の職歴、③家族の職歴」欄に記入してください。

問4. 仕事以外で石綿を吸い込んだ可能性はありますか。  
□ ある (その場所とその時の状況) □ なし □ わからない

問5. 現在までに、肺の病気にかかったことがありますか。  
□ ある → 1□ 肺結核 2□ 結核性胸膜炎 3□ 肺がん 4□ 慢性気管支炎  
5□ じん肺(石綿肺等) 6□ 間質性肺炎 7□ 肺気腫 8□ 原因不明の胸膜炎  
9□ 原因不明の胸水 10□ その他の呼吸器の病気( )  
□ なし

問6. 現在、何か症状がありますか。  
□ ある : 発熱・せき・呼吸困難・胸痛・その他( )  
□ なし

問7. 家族で石綿関連疾患にかかった人はいますか。  
□ ある : (続柄) 中皮腫・肺がん・石綿肺・その他( )  
□ なし

問8. 喫煙の有無  
□ 現在も吸っている 1日平均 本年間(通算 本)  
□ 過去に吸っていた 1日平均 本年間 止めた時期 年前(通算 本)  
□ 普段は吸わないが、稀に吸うことがある(どんな時: )  
□ 吸ったことがない □ 同居者に吸っている方がいる(吸っている方: )

問9. この数年の間に胸部X線検査を受けましたか。  
□ はい : 時期( 年 月ごろ) 医療機関名( ) 結果( )  
検査は → 1□ 石綿健康診断で受けた 2□ 石綿健康診断以外で受けた( )  
□ いいえ

問10. この数年の間に胸部CT検査を受けましたか。  
□ はい : 時期( 年 月ごろ) 医療機関名( ) 結果( )  
検査は → 1□ 石綿健康診断で受けた 2□ 石綿健康診断以外で受けた( )  
□ いいえ

問11. その他石綿ばく露があったと思われる時の周辺環境など、わかっていることがあれば記入してください。

問診者

★左のページ問1. (1)(2)(3)(4)のいずれかに○がついた場合お答え下さい。

受診者の家庭生活等についてあてはまる□に印をつけご記入ください。(複数回答可)

1 □ 自分または家族が石綿を扱う仕事をしていた	年～ 年(通算 年)
2 □ 石綿製品の製造加工作業や内職が自宅であった。	年～ 年(通算 年)
3 □ 家族が石綿関連の仕事についており、 道具や作業着、マスク等を家に持ち帰ったことがある。	年～ 年(通算 年)
4 □ 家庭で石綿製品を使って日曜大工等をしたことがある。	年～ 年(通算 年)
5 □ 石綿工場・鉱山の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある { 地域:(都道府県市町村名) }	年～ 年(通算 年)
6 □ 造船所の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。 { 地域:(都道府県市町村名) }	年～ 年(通算 年)
7 □ 倉庫や建築材料の置場の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある { 地域:(都道府県市町村名) }	年～ 年(通算 年)
8 □ 自動車修理工場の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある { 地域:(都道府県市町村名) }	年～ 年(通算 年)
9 □ 幹線道路や大きな交差点の近くに住んでいたことがある。 { 地域:(都道府県市町村名) }	年～ 年(通算 年)
10 □ 吹きつけ石綿のある建物の部屋で、過ごしたことがある。	年～ 年(通算 年)
11 □ 工場敷地内に入りしていたことがある。 { 状況: }	年～ 年(通算 年)
12 □ その他 { }	年～ 年(通算 年)
13 □ いずれもない。 14 □ わからない。	

★左のページ問2. 居住歴(出生時以降)についてご記入ください。

住	所	備考
年から	年	
年から	年	
年から	年	
年から	年	
年から	年	
年から	年	
年から	年	

別添1

問3. 別紙調査票

★太枠のみご記入ください。

これまでの通學歷、学校を卒業してから現在に至るまでの職業歴、石綿を扱っていたご家族の現在までの職業歴についてご記入願います。  
(在学中のアルバイト、戦時中の仕事など短期間の仕事もできる限り、記入願います。)

① 本人の通學歷

	通学した時期 (年月～年月)	学校名	学校の所在地 (都道府県・市)		通学した時期 (年月～年月)	学校名	学校の所在地 (都道府県・市)
1				5			
2				6			
3				7			
4				8			

② 本人の職歴

従事した時期 (年月～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	保健師チェック欄 (⑥⑦以外は複数選択可)						
					①業種	②内容	③取扱 材料	④近傍 作業	⑤出入 場所	⑥吹付 部屋	⑦労災 認定
通算										年	月

③ 家族の職歴 (当時同居していた家族のうち、石綿を取り扱っていた方のみ記入して下さい。)

続柄 父・母 兄・姉	従事した時期 (年月～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	保健師チェック欄 (⑥⑦以外は複数選択可)						
						①業種	②内容	③取扱 材料	④近傍 作業	⑤出入 場所	⑥吹付 部屋	⑦労災 認定
続柄										通算	年	月
続柄										通算	年	月

## 横浜市一般環境経路による石綿ばく露健康リスク調査 受 診 券

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

下記の方は、石綿ばく露の可能性があり、健康リスク調査事業に同意されましたので、よろしくご高診ください。なお、検診項目は下記の○印を付けた項目となっておりますので、よろしくお願い申し上げます。

No.			
フリガナ			生年 月 日
氏名	(男・女)		T・S 年 月 日生 ( 歳)
住所	横浜市 区 町		TEL

新規 ・ 継続

1. 胸部X線検査
2. 胸部CT検査  
( 検診 / 通常 / HRCT )
3. 結果説明
4. その他( )

平成 年 月 日

様

横浜市中区港町1-1

横 浜 市 長 印

問い合わせ先:横浜市健康福祉局保健事業課 045-671-2482

## 石綿ばく露健康リスク調査指定医療機関一覧

医療機関名	住所
財団法人 神奈川県予防医学協会	横浜市中区日本大通58 日本大通ビル
社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院	横浜市鶴見区下末吉3-6-1
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	横浜市港北区小机町3211
地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜市金沢区富岡東6-16-1
公立大学法人 横浜市立大学附属病院	横浜市金沢区福浦3-9

別添4

横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会委員名簿

平成23年3月31日現在

委員長	みうら ひろたろう 三浦 溥太郎	横須賀市立うわまち病院 副病院長
副委員長	もりなが けんじ 森永 謙二	独立行政法人 環境再生保全機構 石綿健康被害救済部 顧問医師
副委員長	くりはら やすゆき 栗原 泰之	聖マリアンナ医科大学 放射線医学講座 准教授
副委員長	たかやま しげみつ 高山 重光	管工業健康保険組合健康管理センター 所長
委員	やぎはし くにひろ 八木橋 国博	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 助教
委員	おはら いちよう 小原 一葉	自衛隊横須賀病院 検査研究課 課長
委員	たなか としひこ 田中 利彦	財団法人神奈川県予防医学協会 非常勤医師
委員	しみず くにひこ 清水 邦彦	社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院 呼吸器内科部長
委員	もりかわ てつゆき 森川 哲行	独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院 呼吸器内科部長
委員	たかはし ひろし 高橋 宏	地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター 副院長
委員	しのはら たけし 篠原 岳	地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科医長
委員	みやざわ なおき 宮沢 直幹	公立大学法人横浜市立大学附属病院 呼吸器内科准教授